

私を変えた友達の言葉

ムハンマド・エルハム

皆さんこんにちは、今日は、私を変えた友達の言葉について話したいと思います。

皆さんは誰かのことが好きだったら、ちゃんと伝えてありますか。誰かに怒っている時、嫌なことがあった時、元気じゃない時、その感情をはっきりと出していますか。

私には大好きな友達がありました。その友達は私と同じような性格で、仲良くなりました。気持ちを隠して、嫌なことを我慢する性格でした。その友達と毎日一緒に学校に通ったり、ご飯を食べたりして、彼女の存在が当たり前になりました。しかし、ある時、私はずっと行きたかった留学に行けなくなり、落ち込んでしまいました。彼女はずっと隣で優しく励ましてくれました。しかし、私は強がって、悲しい気持ちを言わず、力になってくれようとした彼女からの言葉も要らないように冷たい態度をとってしまいました。しばらくすると彼女は何も言わずにどんどん私から離れていって、私も何も聞かずに離れて行きました。

彼女がいなくなって初めて、いつも私の話を聞いてくれた大切な存在だったと気づきました。寂しくて、寂しくて堪らなかったですが、そんな気持ちを見せるのが恥ずかしくて、黙ったままでいてしまいました。

ある日、一緒に発表することになって、それをきっかけに仲直りしようと思ったら、彼女に「私に対する感情がないでしょう？私がいなくても平気でしょう？もう友達になりたくない」と言われました。

その言葉を言われて初めて気づきました。彼女が大好きなのに、大事な存在なのに何でそんなことを言われたのだろう。それは、私は自分の事情も彼女が大事という気持ちも見せず、彼女が離れた理由も聞かず、離れて行ったからです。お互い、嫌なことがあっても、黙ったままで、大丈夫、気にしないでよと言ってばかりいたからです。気持ちを伝えていたら今の状況になっていないのにと後悔しました。大事な人だからこそ気持ちを伝えるべきでした。確かに弱さを見せたくないこともありますが、気持ちをはっきり言わないと相手もわかってくれないことが多いのです。小さなことの積み重ねで友達ではなくなったのが心に傷を残しました。我慢して気持ちを言わないことは友達をなくすだけでなく、ストレスの原因となり、心も体も疲れるのではないのでしょうか。時間は戻せないのですが、その友達の言葉が私を変えてくれました。気持ちを伝えるようになり、「あれは嬉しい、それは苦手、大好きだよ」と言えるようになりました。すると、心も軽くなり、相手のことをもっと理解できるようになりました。それに気持ちをはっきり伝えると相手との関係も強くなると気づきました。気持ちを表す大切さに気づかせてくれた彼女は今でも私にとって大事な存在です。

皆さんも大事な人に気持ちを伝えてみたらどうでしょうか。今回の私のスピーチが誰かを変えることを願います。ご清聴、ありがとうございました。